

今号のボランティアグループ紹介 北陸学院大学クリエイショングループ

●活動の内容について教えてください。

● 行政や地域の団体からの依頼を受けて、イベントスタッフとして協力したり、子ども向けにステージでの参加型パフォーマンス等を提供しています。メンバーは学科の枠にとらわれることなく、学校内のすべての学生を対象としています。実際の取り組みでは、教材作りからステージパフォーマンスの練習、司会進行やプログラムの内容等、事前準備の段階から学生が主体となって行っています。

●ボランティア活動をしてやりがいを感じる時はどんな時ですか。

● 学業で忙しい学生が多いので、事前準備は昼休みや授業の空き時間を利用して行っています。限られた準備時間のなか、一生懸命練習をして臨んだステージでダンスを披露した際に、子ども達が笑顔でいっしょに踊ってくれたときは、とても嬉しかったです。また、普段の学生生活では関わる機会が少ない社会人の方等とコミュニケーションをとりながらイベントを進めたり、ステージ上で多くの人前でパフォーマンスをすることによって、今では大抵のことでは物怖じしなくなりました。活動を通して、様々な方と関わることで、人間として大きく成長できたと思います。

●最後にメッセージをお願いします。

● 北陸学院大学クリエイショングループは、地域支援のために活動しています。福祉や教育に関連するイベントの出演等で、ご相談をいただければ、お力になりたいと思っています。会場の皆さんが一体となって楽しめる、全員参加型のパフォーマンスを披露させていただきますので、たくさんのご相談をお待ちしております。

【連絡先】 瀬戸 美江(せと みえ) 電話 076-280-3850
FAX 076-280-3851 メール reddec@hokurikugakuin.ac.jp

このコーナーでは、金沢市内で活動しているボランティアグループを紹介します。
今回のボランティアグループに興味のある方は、連絡先までお問い合わせください。

また、金沢ボランティアセンターでは、「ボランティア活動がしたい」、「ボランティア情報が欲しい」などの相談に応じています。お気軽にご相談ください。

ホームページにボランティア情報を掲載しませんか？

金沢市社会福祉協議会のホームページでは、ボランティアに関する情報を掲載しております。掲載は無料です。掲載を希望する団体は、金沢ボランティアセンターへお問い合わせください。

【対象となる団体】

福祉施設、病院、ボランティアグループ、NPO法人など
(個人での募集は対象外です)

【対象となる情報】

- ・継続的、短期的なボランティア活動者募集
 - ・ボランティアグループの会員募集
 - ・ボランティアに関するイベント情報など
- ※営利・政治・宗教を目的としたものや有償の活動、その他、金沢ボランティアセンターが不適当と判断した活動は掲載できません。

<問い合わせ先>

金沢市社会福祉協議会／金沢ボランティアセンター 電話：076-231-3725 メール：knz-vc@kana-syakyo.jp



金沢市社会福祉協議会へのアクセス

【住所】

石川県金沢市高岡町7-25
金沢市松ヶ枝福祉館内

武蔵ヶ辻・近江町市場バス停から徒歩5分
南町・尾山神社バス停から徒歩3分
環境のためにも公共交通機関を利用しましょう



Googleマップ

金沢市 社協情報

はじめてみませんか？
ボランティア

No.175
2019.11.30

令和元年度 共同募金運動ポスターコンクール入賞作品



祝 石川県知事賞

金沢市立紫錦台中学校3年
高田 夏海 さん



祝 石川県共同募金会会長賞

石川県立羽咋工業高等学校1年
浜野 紗雪 さん



祝 優秀賞

金沢市立小坂小学校6年
神谷 美琴 さん

令和元年度ボランティア講座 参加者募集！

これからボランティアをはじめたい方、活動の幅を広げたい方、社会貢献の一環としてボランティアに参加してみたい企業などを対象にボランティア講座を開催します。ボランティアに興味のある方ならどなたでも無料で参加できますので、下記のテーマから参加希望の講座を選んで、電話にてお申し込みください。

参加費 無料

定員 各テーマ20名(先着順)

申込・問合せ先 金沢市社会福祉協議会／金沢ボランティアセンター 電話076-231-3725

テーマA

「吃音を知る、吃音とつきあう」

吃音とは語頭音を繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりして、滑らかに発話ができなくなる状態のことをいいます。成人の100人に1人が持っているという統計が出ており、非常に身近な症状です。実際に当事者の経験談を聞きながら、わたしたちができる支援について考えてみましょう。

日時：令和2年1月26日(日)
13:30～15:30

場所：金沢市松ヶ枝福祉館4階 学習室
(金沢市高岡町7-25)

講師：石川言友会
会長 野母 浩之 氏

テーマB

「フードバンク・フードドライブって？」

フードドライブとは、家庭で眠っている不要食品を寄贈していただき、食品の支援を必要としている福祉団体・施設に無償で提供する活動です。最近ではフードバンク、企業や団体からの防災備蓄品の入れ替えなどで出た不要食品や季節商品等の寄贈も増えてきています。フードバンク・フードドライブを通してできる様々な支援の方法をご紹介します。

日時：令和2年2月14日(金)
14:00～16:00

場所：金沢市松ヶ枝福祉館4階 学習室
(金沢市高岡町7-25)

講師：NPO法人いしかわフードバンク・ネット
理事 青海 万里子 氏

テーマC

「災害ボランティアを体験しよう！」

近年、多くの災害が起こり、災害ボランティア活動が活発になってきています。「興味はあるけど、いきなり被災地で活動するのはとても不安!」そんな方は、現地での具体的な活動内容、注意点、心構えなどを学びながら、災害ボランティア活動の疑似体験をしてみませんか？

日時：令和2年2月23日(日)
10:00～12:00

場所：金沢市松ヶ枝福祉館4階 集会室
(金沢市高岡町7-25)

講師：一般社団法人
石川県災害ボランティア協会
会長 水戸 雅之 氏

ボランティアに興味があるひと
集まれ!



ウェルくん

今号の内容

- ボランティア講座のお知らせ 1 ページ
- ボランティアグループ紹介 4 ページ
- 子どもの貧困～学習支援と社会的な居場所づくり～ 2、3 ページ
- ホームページにボランティア募集情報を掲載しませんか? 4 ページ



ホームページ



フェイスブック



LINE@



社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会



本誌は共同募金配分金などにより作成しています。

子どもの貧困～学習支援と社会的な居場所づくり～

金沢自立生活サポートセンター

7人に1人の子どもが貧困状態

厚生労働省によると、子どもの相対的貧困率は13.9%(2015年)と、7人に1人が相対的貧困状態にあるということが明らかになっています。

相対的貧困は、食べるものにも事欠くような絶対的貧困とは異なり、一見すると分かりにくく、見過ごされてきた部分もありました。

「習い事や塾に行けなかった」、「誕生日会やバーベキュー、クリスマスなどの季節の行事をしたことがない」、「親が夜遅くまで仕事をしており、一緒に楽しくご飯を食べたり、学校であったことをゆつくり話したりする時間が少ない」など、子どもにとっての大切な経験やつながりが経済的な理由

で奪われている現状があります。

貧困の連鎖を防ぐには

関西国際大学道中隆教授の調査結果によると、生活保護を利用している世帯の世帯主の約25%(母子世帯においては41%)が子ども時代に生活保護世帯であったことが明らかになるなど、貧困が次の世代に連鎖している状況や、貧困状況のまま固定化されている状況が浮き彫りになりました。

また、教育費の負担が大きく、奨学金を借りて進学しても返済が負担となるケースも聞かれます。返済不要な給付型奨学金等の充実により、経済的な理由で進学を諦めなくてもいいような仕組みが求められています。

2014年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行(2019年6月に改正)され、学習支援、就学支援、親への就労支援等の取り組みが始められています。

貧困対策と子どもの学習支援

金沢市は2019年2月に「金沢市子どもの貧困対策基本計画」を策定し、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、支援が行き届く仕組みづくりが進められています。

金沢自立生活サポートセンターでは、金沢市や市内の大学、教育委員会等との協力により、子どもの学習総合支援事業を実施し、中高生の学習支援と居場所づくりに取り組んでいます。

相対的貧困率とは：貧困線(等価可処分所得の中央値の半分※平成27年度は122万円)に満たない世帯員の割合のこと。
例)母と子の二世帯の場合の貧困線は、173万円(月14万円)。

子どもの学習総合支援事業(中学生・高校生の学習支援と居場所の提供)

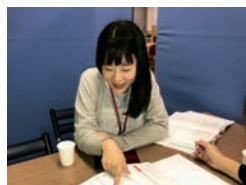
生活困窮世帯の中学生・高校生を対象に進学等に向けた学習の支援などを行う「学習支援教室」を開催しています。教室では大学生のボランティアがそれぞれの子どもに合わせて勉強を教え、おしゃべりなども交えながら、楽しく・安心して過ごすことができる居場所を提供しています。また、教育や進路選択等に関する相談に応じ、子どもと保護者の双方に必要な支援を行っています。

場 所 金沢市松ヶ枝福祉館

開催日 金曜日(毎週)・土曜日(月2回)

参加費無料・交通費全額補助(バス回数券支給)

※世帯の収入などの参加要件があります。



学習支援ボランティア(大学生)にインタビュー

学習支援教室では、教育・福祉・心理・社会保障等を学んでいる大学生のボランティアが、生徒の学力やペースに合わせて、勉強を教えています。年齢の近いお兄さん、お姉さんが勉強をサポートすることで将来の目標になるようがんばっています。夏休みにはバーベキューなどのイベントも実施し、交流を深めています。

Q1. 活動してうれしかったことは？

Q2. ボランティアとして大切にしていることは？

盛崎 和紗さん

(金沢大学学校教育学類4年)

A1. 生徒に笑顔で「わかった!」と言われた時がうれしかったです。雑談などを通じて、信頼関係が築けた時もうれしいです。

A2. 会話の中で何気なく漏らした言葉もキャッチできるよう意識しています。自然な聴き取りを大切にしています。

原 茉奈美さん

(金沢星稜大学経済学部4年)

A1. 生徒から「また会えてうれしい!」と言われたことです。生徒が自分のことを覚えてくれていることや生徒の成長が見れることがうれしいです。

A2. いつも明るく笑顔で接することです。身近なお姉さん役として接して、話しかけやすい雰囲気づくりを大切にしています。

菅原 ひよりさん

(金沢大学地域創造学類4年)

A1. 生徒が夢や目標を語ってくれた時がうれしかったです。生き生きとした表情で将来を語る姿を見て、応援したいと思いました。

A2. 生徒の話をしっかり聴くことです。あいづちや聴く姿勢を意識し、相手のペースで話せるよう心がけています。



生活に困窮する人の自立に向けた支援

金沢自立生活サポートセンター

生活に困窮している方への相談支援

(自立相談支援事業)

生活に困窮している人のあらゆる相談に応じています。

例えば、
「仕事が見つからない」
「借金が多く生活が苦しい」
「引きこもりやニートで悩んでいる」
「就職に不安がある」
「家賃が払えない」



このような困りごとについて、専門の支援員が相談に応じます。どのような支援が必要かを一緒に考え、そのうえで具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

- ・就労に向けた課題の整理、就労の準備に向けた支援
- ・ハローワークと連携した支援、職場定着に向けた支援
- ・医療機関と連携した支援
- ・債務整理の支援

様々な関係機関と連携しながら相談・支援を行います。

離職した方等への家賃相当額の支給

(住居確保給付金)

離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方には、就職に向けた活動をすることなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えたうえで、就職に向けた支援を行います。

生活福祉資金貸付制度

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対して、一時的に必要な費用などを貸し付けする制度です。

教育支援資金

高校、大学等にかかる入学金・学納金等

福祉費

療養費、住宅補修費、福祉用具購入費、介護サービス費、転居費等

緊急小口資金

一時的に必要な生活費

総合支援資金

失業者等への生活費・住宅入居費等



不動産担保型生活資金

高齢者を対象に居住用不動産を担保に生活費を貸付

※資金の種類・目的・用途により、貸付対象や要件が異なります。資金の用途・必要性や償還の見通しなどを審査で総合的に判断し、貸付の可否を決定します。



もったいないを笑顔につなげる活動 ～フードバンク・フードドライブの取り組み～

●フードバンク

企業などから寄贈された食べ物を、福祉施設・生活困窮者支援団体などの団体・施設に提供する活動です。



●フードドライブ

家庭で余っている食品を持ち寄り、それらをまとめて福祉施設等に提供する活動です。



NPO法人いしかわフードバンク・ネット

安心して暮らせる地域インフラのひとつとしてフードバンク・フードドライブのしくみを石川県内に定着させていくためのNPOが2019年5月に設立され、金沢市社協も運営に参画しています。

金沢市西念3丁目3-5
石川勤労者福祉文化会館5階(さわかU内)
電話 076-222-3310 FAX 076-222-3374

社会福祉法人金沢市社会福祉協議会 金沢自立生活サポートセンター

TEL 076-231-3720 FAX 076-231-3560 Eメール support@kana-syakyō.jp 金沢市高岡町7-25 金沢市松ヶ枝福祉館2階